



議会だより



平成18年12月定例会で予算案を審議する40名の議員

主 な 内 容

平成17年11月臨時会・12月定例会、平成18年1月臨時会を開催

11月臨時会について	2 頁
12月定例会について	
議案審議	3 ~ 5 頁
一般質問	
・17人が登壇	6 ~ 9 頁
委員会審査など	10 頁
1月臨時会について	5 頁

平成17年

11月
臨時会

平成17年第2回臨時会は、11月28日に開かれました。

臨時会では、まず、10月に議員2名が失職したことによる議席の一部変更を行いました。（現在の議員定数及び議員数は40名）

議案については、議員提出議案として条例案1件を提案し可決したほか、市長提出議案として条例案1件、人事案14件が提案され、本会議・委員会などの審査を経て、採決の結果いずれも可決・同意しました。

また、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行ったほか、農業委員会委員の議案推薦、南越清掃組合議会議員の補欠選挙も行いました。



監査委員に
福田 修治 議員
(新世紀)

武生市で当選4回 65歳
武生市議会において、議長、建設委員長、新幹線対策特別委員長などを歴任

人 事

教育委員の任命に同意

中島 和則氏 (家久町)

藤下 洗養氏 (定友町)

岩端 るみ子氏 (堀川町)

藤 光真氏 (清水頭町)

堀川 晴美氏 (本多一丁目)

なお、中島教育委員は、11月29日付で初代越前市教育長に就任しています。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

片岡 建和氏 (村国二丁目)

山田 昭榮氏 (粟田部町)

垣内 春代氏 (広瀬町)

監査委員の選任に同意

田中 育夫氏 (鯖江市住吉町)

内上 和博氏 (福井市新田塚)

福田 修治氏 (国府二丁目)

公平委員会委員の選任に同意

大柳 登氏 (府中二丁目)

黒田 義明氏 (新在家町)

山本 宣子氏 (余田町)

選挙管理委員会

委員

永田 紘一氏 (住吉町)

町村 正則氏 (五分市町)

水野 浄子氏 (武生柳町)

長谷川 一美氏 (野岡町)

補充員

宮田 和夫氏 (広瀬町)

大森 節子氏 (赤坂町)

泰圓 澄法嗣氏 (国高二丁目)

田中 三紀子氏 (庄田町)

農業委員会委員

(議会推薦)

川崎 悟司

西野 与五郎

木野 勘治

嵐 等

南越清掃組合議会議員
(補欠選挙)

長谷川 仙一郎

11月臨時会の審議議案

満場一致可決・同意

《条例》

越前市職員の給与に関する条例の一部改正について
越前市議会委員会条例の一部改正について

《人事案》

教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
監査委員の選任につき同意を求めることについて
監査委員の選任につき同意を求めることについて
監査委員の選任につき同意を求めることについて
公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

越前市
当初予算

総額362億1,764万円

12月
定例会

平成17年10月～18年3月の6カ月分を予算編成

なお、今回の当初予算案は、越前市発足の10月1日に専決した一般会計など15会計の暫定予算を含めた平成17年10月～18年3月に必要な歳入歳出等を計上したものです。

予算の規模

(千円)

	当初予算額	補正額(12月)	補正後の額
一般会計	17,619,000	145,151	17,764,151
特別会計	17,129,885		17,129,885
企業会計	1,468,757		1,468,757

一般会計 1億4,515万円を増額補正

この補正予算は、降雪に備え、除雪委託料等を追加計上したものです。(12月26日追加上程)

平成17年第3回定例会は、12月12日～26日の15日間にわたって開かれました。

定例会では、市長提出の当初予算案15件、補正予算案1件、条例案7件、一般議案9件、人事案1件、決議案2件が提案され、本会議・委員会などの審査を経て、採決の結果、いずれも可決しました。また、議員提出の意見書案4件も可決しました。

条例審議

(内は質疑をした議員名)

越前市まちづくり事業基金条例の制定について

(玉川議員・関正美議員)

問 今回この条例の制定に伴って予算計上されている5億9千万円の基金の使い道は決まっているのか。

答 この基金は、総額17億7千万円(財源の95%は合併特例債を活用)を3年間に分割した初年度分で、将来に備え積み立てるものである。合併特例債には、新市建設計画に基づいて行う建設事業に充当される分と、基金造成分があり、この基金の積立による運用益は、住民の一体感が作り出せるような事業を考えて使いたい。合併で得た権利を十分に確保しながら、市民とともに、本当に必要な事業のあり方を、慎重に、また総合的に考えていく中で、この基金を活用したい。

一般議案審議

越前市児童養護施設及び越前市児童家庭支援センターの指定管理者の指定について

(題佛議員、城戸議員、中西議員)

問 24時間子どもたちが安心できる家として、体制の充実を図れないか。

答 民営化にあたり、夜間の子どもたちへの処遇向上を図りたい。

問 進修学園卒業後の就職への対応はあるのか。

答 法人設立にあたって、NPO関係者や会計士など様々な人の参加があった。その方々のサポートが、就職の支援についても行われるものと判断、また期待もしている。

問 法人に対して補助金が出ているが、経営形態についてどのような判断をしたのか。

答 社会福祉法人を設立するには、基本財産が1千万

円以上、運営資金として1カ月分を保持しなければならない。施設の特異性を考え、社会福祉法人であれば誰でも良いという性質ではなく、あくまでも子どもへの処遇を前提に考えるべき施設であるという考えのもと、今日まで至った。社会福祉法人を設立するという目標とその考え方が、我々と一致したことで、その法人を支援することを決め予算計上した。

問 福祉法人に4人の市職員を派遣するというが、民間委託で経費節減になっているのか。

答 市職員が11名から4名に減ること、職員の人件費部分が節減される。



民間に運営が委託される進修学園(芝原一丁目)

予算審議

市民バス運行事業

2539万6千円

(関正美議員、玉川議員、
玉村議員)

問 平成18年度中の試行運転に向けた検討はされているのか。旧今立町では65歳以上は無料、旧武生市は100円である。また、旧今立町では、月々土曜日に運行されており、利用者も多い。良い方向に合わせていくことが合併した中で大事ではないか。

答 安定的に運営ができ、利便性の高いダイヤやルートを検討していくことが、試行にあたっての方針である。全体的なダイヤ、ルートを真剣に研究し、来年度の試行運転につなげたい。料金については検討していく。

問 児童の下校時の安全対策を考える中で、市民バスを利用したスクールバス事業に取り組めないか。

答 どれほど対応することが可能かどうか、公共活性化プログラムの策定も今進めている中で検討したい。

行政改革推進事業 30万円

(玉村議員・安立議員)

問 市長の思う改革とは。

答 厳しい財政状況、市民がまちづくりに対して高い自治意識を持っている現状、民間企業にも素晴らしいノウハウが蓄積をされている状況を見ると、改めて行政の守備範囲をゼロベースで見直す。

行政が引き続きやるべきこと、住民がまちづくりに参画する中でお願いすべきこと、民間企業のノウハウのもとで効率的に運営してもらうことが望ましいこと、これらをしっかりと区別したい。この機会に整理をし、改めて行政としての役割を担っていくべきことを、構造的に改革したい。今年度中にプログラムを策定したい。

問 行政改革推進委員会の果たす役割とは。

答 市民の目線に立った提言や、経営感覚を活かした視点での提言をいただく。

問 構成員は、何人を予定しているか。女性の委員参加は考えているのか。

答 一般公募も含め8人で構成したい。公募の中にも女性が入っており、男女共同参画の視点で取り組む。

総合計画推進事業 30万円

(山崎議員)

問 総合計画のビジョン策定会議委員の内容について教えてほしい。

答 委員の設置は早くても2月になる。人選はまだ行っていない。これから10年間の基本構想を作る場合、地方自治体を取り巻く環境の変化が予想される。地方分権や財政のあり方、日本経済など、大きなビジョンを踏まえ、越前市のまちづくりの方向性を打ち出す。そこで、全国的にも活躍をされているような識者の人に、これからの時代の流れ、トレンドというものについて、アドバイスを受けたい。市民を交えたビジョン策定については、今後のトレンド等を確認したうえで、改めて多くの市民と一緒に取り組む活動を、新年度から行っていきたい。

新図書館建設事業 9億5055万円に關して

(伊藤藤夫議員)



建設が進む新図書館(武生中央公園内)

問 現在の工事の進捗状況と完成の時期は。オープン日は決めているのか。

答 現在の進捗状況である。完成、引渡しは6月20日ごろで、開館日は8月1日を目標としている。名称については、決め方等、早急に対応したい。

イの問題も、専門家の指導を受けながら図書館内のサーバを使わないようなシステムを採用するなど対応したい。祝日も開館し、日曜日は午後6時まで開館時間を延長したい。夏休み期間などは開館時間を早めることも検討したい。

問 現在の図書館本館と分館「ちく」はどのようなのか。

答 武生図書館本館は、市庁舎として利用も考えている。「ちく」は市民ギャラリーや視聴覚ホールなどとして、貸し館としての活用を考えている。

問 職員体制はどのように考えているのか。

答 新図書館の利用は、現在の2.5倍以上になると見込んでおり、職員数は20名を考えている。市の正職員は10人、それ以外は嘱託職員を募集したい。

地域防災対策事業

2339万8千円

(玉村議員)

事業の中で取り組む洪水ハザードマップ作成について、マップには危険箇所を具体的に示し、実用性が高いものでなければならぬが、どのように取り組むのか。

実際に被害に遭った人や区長の意見も聞きながら、良いマップをつくりたい。

越前市開市式事業

470万円

(西野議員)

いつごろ、どのような内容で予定しているのか。

3月19日、午後1時～午後5時半、市文化センター大ホールで行う。

合併して半年も経過することになるが、中身のある式典になるのか。

降雪期を避けるために3月開催を予定した。二部構成を考えており、一部は式典、二部は新市発展をテーマに、市民による催しを計画している。企画も募集したい。

意見書

可決された意見書は、国会及び関係行政へ提出しました。

「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書

議会制度改革の早期実現に関する意見書

地方道路整備の促進に関する意見書

北朝鮮による日本人拉致事

件の早期全面解決を求める意見書

決議

非核平和都市宣言に関する決議

地産地消の推進に関する決議

人事

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

小柳敏貞氏(中津山町)

平成18年1月臨時会

平成18年第1回臨時会は、1月17日に開かれ、市長提出議案として条例案1件が提案され、議会運営委員会の審査を経て、採決の結果可決しました。

委員会審査

越前市総合計画審議会条例等の一部改正について

首長と議会の議員が、それぞれ直接選挙で選ばれる地方自治体特有の二元代表制の基

本精神に立ち戻り、理事者の政策形成段階からの議員の関与を避けることで、自治体の最終意思決定機関としての議会の役割を明確にできること、さらに、議員が執行機関の審議会等に所属することで、自由な発言が制約される弊害を取り除き、議員それぞれが、市長から提案される事案に対し、フリーな立場で、住民意思をより強く反映できるようになることから、全員一致で可決しました。

平成17年12月定例会、平成18年1月臨時会の審議議案 満場一致可決

平成17年12月定例会 《予算》

- 平成17年度越前市一般会計予算
- 平成17年度越前市一般会計補正予算(第1号)
- 平成17年度越前市簡易水道事業特別会計予算
- 平成17年度越前市土地区画整理事業特別会計予算
- 平成17年度越前市下水道特別会計予算
- 平成17年度越前市国民健康保険特別会計予算
- 平成17年度越前市霊園事業特別会計予算
- 平成17年度越前市老人保健特別会計予算
- 平成17年度越前市駐車場特別会計予算
- 平成17年度越前市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成17年度越前市林業集落排水事業特別会計予算
- 平成17年度越前市介護保険特別会計予算
- 平成17年度越前市今立西部工業団地事業特別会計予算
- 平成17年度越前市水道事業会計予算
- 平成17年度越前市ガス事業会計予算
- 平成17年度越前市工業用水道事業会計予算

《条例》

- 越前市まちづくり事業基金条例の制定について
- 越前市長職務執行者の給与、旅費及び退職手当に関する条例の廃止について
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例及び鯖江・越前地区介護認定審査会委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について
- 越前市中山間地域農村活性化拠点施設設置及び管理条例の一部改正等について
- 越前市農村環境改善センター設置及び管理条例の一部改正について
- 越前市ハツ杉森林学習センター設置及び管理条例の一部改正について
- 越前市都市公園条例の一部改正について

《一般議案》

- 武生三国モーターボート競走施行組合規約の一部変更について
- 鯖江広域衛生施設組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更について
- 福井県自治会館組合を組織する地方公共団体の数の減少について
- 福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更について
- 福井県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更について
- 安全・安心都市の宣言について
- 男女共同参画都市の宣言について
- 越前市児童養護施設及び越前市児童家庭支援センターの指定管理者の指定について
- 鯖江・越前地区介護認定審査会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び同審査会の共同設置規約の一部変更について

《意見書》

- 「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書の提出について
- 議会制度改革の早期実現に関する意見書の提出について
- 地方道路整備の促進に関する意見書の提出について
- 北朝鮮による日本人拉致事件の早期全面解決を求める意見書の提出について

《人事案》

- 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

平成18年1月臨時会

《条例案》

- 越前市総合計画審議会条例等の一部改正について

一般質問

12月定例会では、17人の議員が市の考え方や方針など、市政全般について一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現況や将来計画の考え方など、市民生活に密着した問題をただすために行うものです。各議員の質問と、当局答弁を要旨で掲載します。

越前市総合計画策定 に対する考えは

フロンティア 21
嵐 等

Q 総合計画策定に対する市長の考えは。

A 総合計画は最も重要な計画である。新市建設計画と合併協議での合意事項や、多くの市民の意見も反映できるように、18年度末の策定に向けて精力的に取り組む。

Q 重要要望事項である戸谷・片屋線の整備について、その進捗状況は。

A 県事業として吉野瀬川左岸から日野川左岸までを平成13年度から都市局事業で実施しており、総事業費約72億円のうち平成17年度までに約16億円を投じ、事業費べースで約22%の進捗、物件移転分は約50%の進捗となっている。同じく、県事業として日野川左岸から鳥羽中芦山線までを平成16年度から道路局事業で実施しており、総事業費約30億円のうち約1億8千万円を投じ、事業べースで約6%の進捗となっている。今後とも県ともども鋭意地元協議を進めていく。

行財政構造改革への 施策について

新世紀
玉川 喜一郎

Q 行財政構造改革と元氣な産業づくりの施策は。

A 財政状況が厳しい中、行政、市民、民間の役割分担についても精査し、行財政構造改革プログラムを作り、自主財源の確保は重要であり、旧武生市で策定した産業活性化プランを越前市として改め、企業立地の促進補助金制度を大幅に拡充し、最高3億円という支援制度を発表した。あわせて商工会議所や県産業支援センターなどとも連携を取りながら、越前市の産業支援ネットワーク（略称・エニス）を設置、様々な機関が連携を取りながら産業を支援できる体制を構築する。

Q 新市建設計画には多くの事業があるが、計画どおり実施できるのか。

A 既に着手している事業は継続する。それ以外の事業は、財政の裏付けをもつて優先順位や時期について議論をし、新年度に総合計画を策定する中で、18年度末には市民に示せるよう努力する。

南中山小学校の改築 について

今和会
前田 一博

Q 南中山小学校の改築にあわせて、保育所や体育館は併設するのか。また、給食室を設置する予定はあるか。

A 小学校の計画については、平成18年度に基本設計の予算案を提案したい。施設の配置は、基本設計の中で検討し結論を出す。校舎と体育館の同時建設は、厳しい財政状況があり考えられないが、着実に事業を前進させたい。給食室は設置せず、当面は南越中学校での共同調理システムをより良い方向で運用したい。

Q 新庁舎の位置はいつごろまでに特定するのか。

A 合併後5年をめどに新庁舎建設事業を進める。位置については、まちづくりの観点からも十分内部で検討を深め、地域や関係者の理解を得ながら選定していく。なお合併協議会では、日野川東部に当たる国道8号沿い、北部地域を優先候補地とすることが確認されている。

中心地の空洞化とコンパクトシティについて

未来
城戸 茂夫

Q 中心市街地の人口は25年間減少し続けている。まちづくり条例との関係の中で、コンパクトシティの概念をどう考えているか。

A 財政が非常に厳しく人口減少時代であることから、無秩序な市街地拡大ではなく、インフラが整った中心部へ人口を拡大する仕組みを研究するよう指示をした。また、国のまちづくり三法の見直しの推移を見極めながら条例は制定したい。中心市街地活性化プランは、庁舎跡地利用や市営住宅のあり方についても研究し、住民参加のもと18年度に策定したい。

Q 固定資産税の税収減や児童手当の地方負担増などにより、行財政構造改革プログラムは修正するのか。

A 国の三位一体改革が進む中で、国庫支出金や地方交付税交付金の削減が急速に進んでいる現状から、厳しい財政見通しと今後の事業計画が連動することに重点を置いたプログラムを見直す。



(注) A E D (自動対外式除細動器)とは...

心臓の心室が小刻みに震え、全身に血液を送ることができなくなる心室細動等の致死性の不整脈の状態を、心臓に電気ショックを与えることにより、正常な状態に戻す器械のこと。

三里山トンネルの整備促進に関して

諸派・無所属

山崎 隆敏

Q 三里山トンネルのメンテナンスを憂慮する住民も存在する。トンネルが与える地域への影響や地域コミュニティの再生に寄与し得るのかどうかなど、まちづくりの観点からも十分な調査と住民議論が必要ではないか。

A 武生と今立の一体的な発展や、丹南地区の連携強化を図るにも有効なトンネルと認識している。費用対効果やまちづくりに対する影響を十分議論し、トンネルを整備することで、さらに発展できるまちづくりのあり方を真剣に議論したい。

Q 旧今立町では、毎年全修など要望書を提出し、約5千万円の町予算の枠内で緊急性の高いものから順に執行していたが、どうなるのか。

A 現場を調査し、緊急性、重要性、必要性などを十分検討した上で計画的な執行に努めたい。今後自治振興の取り組みにも期待している。

A E Dの普及と救命率の向上を

諸派・公明党

関 利英子

Q 救急用具のA E D(注)を公共施設などに設置し、講習会を開催して、救命率の向上を図るべきでは。

A 現在、A E Dは、市内の高校と養護学校に設置されている。今後は、人が多く集まる場所への設置に向け検討する。これから講習会の受講を職員に呼びかける。

Q こども110番の家が空き家になっていく実態もあるが、見直しの計画は。

A こども110番の家は、現在1650軒ほどだが、実情にあった見直しが必要と認識している。

Q 見守り隊の活動を活かすためにも、児童の下校時間を調整できないか。また、児童の安全対策として、放課後児童クラブを6年生まで兄弟で利用できるように拡大を図れないか。

A 下校時間は授業時間との関係もあり一律的な調整は難しい。放課後児童クラブは、実態をつかみながら、対応をしていきたい。

南越中学校にもスクールランチ導入を

越前クラブ

山田 芳則

Q 南越中学校に、武生地域の中学校で実施している「スクールランチ方式」を導入する考えは。

A スクールランチの計画はない。武生地域でも、白山小と武生5中は、共同調理を実施している。自校方式の良さも十分にある。

Q 南中山小の改築は屋内運動場も同時にすべき。構造耐力度調査では安全性に問題は無いのか。

A 屋内運動場は、構造耐力度調査でもポイントが高く、国の補助対象にならない。学校の改築は、市全体の整備計画の検討と財源の確保が必要である。今回は校舎だけの改築を進める。

Q 鞍谷川災害復旧補助事業の進捗状況は。

A 現在地元に対して事業の説明会を行い理解を求めている。用地取得の早期完了と平成20年度事業完成を目指すよう、県へ強く要望するとともに事業推進に協力していきたい。

伝統産業への支援策について

未 来

中西 眞二

Q 越前和紙、越前打刃物、越前指物などの伝統産業への支援策は。

A 和紙は、販路拡大の支援を行うほか、紙の文化博物館など3館を、和紙組合に指定管理とするなど効果的な事業展開を図る。越前打刃物についてもこれまで同様支援を続ける。越前指物については、業界とともに伝統的工芸品の指定に向けて取り組んできたが、国の方針により建具関係は指定の対象にならないため、今後は、越前筆筒に絞り込んで取り組みたい。

Q 市内4地区で総合型地域スポーツクラブが活動しているが、どのような支援を行っているのか。

A スポーツ振興宝くじの助成の対象となるよう申請を行った。自治振興事業や健康21事業と競合する面もあるため、内容を見極めながら、今後スポーツを通じた市民の健康づくりを支援したい。手を挙げる地区があれば支援する。市ホームページや広報紙で活動内容等を啓発したい。

一般質問

国民保護計画づくりについて

諸派・日本共産党
玉村 正夫

Q 日本を戦争できる国にしようとする動きの中で国民保護計画づくりは、非常に危険な問題ではないか。

A 日本は憲法第9条で戦争放棄しており、万が一のときの備えをすることは問題ないと考える。市としては、18年度中に計画を策定したい。

Q 安心安全のまちづくりについて、子供にとって安全な通学路をどのようにつくるのか。

A 通学路の危険箇所はポイント以上を一人で帰る区間を確認した。それをもとに地域の意見も聞きながら、市内全域で安心安全マップの作成の取り組みを行っている。

Q 「まちづくり条例」で大型店舗の進出は防ぐことができるのか。

A 「まちづくり条例」は無秩序な開発を抑制するものだが、国の「まちづくり三法」の方向性の中で市の条例制定に取り組みたい。

市民バスの見直しについて

今 和 会
木野 勘治

Q 現在運行している市民バスは、多くの市民の重要な交通手段となっている。平成18年度に、新たなルート、ダイヤ編成等を検討しているというが、現在の運行内容と今後の見直しの方向性はどうか。

A 現在、武生地域では市街地循環、市街地連絡ルートの8ルート、今立地域で3ルート運行している。今年度、国土交通省のモデル指定を受けており、現在、最適交通システムのあり方について検討を深めている。今後、越前市全体の計画を立て、来年度に試行運転、19年度から本格実施としたい。

Q 今立地域にある、水間簡易水道と月尾簡易水道の水源は、雨が降ると水が濁る状況にある。早急に改善策を講じてほしい。

A 水質の管理は、検査体制を確立して、今後も安全な水の供給に努めていく。

学校の安全体制について

未 来
川崎 悟司

Q 子供達の通学路の安全確保と安心・安全マップ作りの進捗状況は。

A 小中学校ともに複数下校を指導し、各地区においてボランティアによる見守り隊の協力を受けている。安心安全マップは、現在、児童からの情報をもとに危険箇所の確認を行い作成し、関係機関とも連携を強化していく。

Q ゆとり教育や学力低下からくる、児童や教職員のストレスに対処する心のケアと仁愛大学との連携は。

A 全中学校にスクールカウンセラーを配置し、小学校にも派遣している。仁愛大学の心理臨床センターは、地元のカウンセリングの専門機関として活用している。

Q 地産地消を含めた食育推進事業の概要は。

A 県の補助を受け、今年度、市としての食育推進計画を立て、18年度に実践プログラムをまとめる。学校給食においても食に関する指導を行い、地域と連携しながら地産地消を推進する。

教育問題の諸点について

諸派・公明党
関 正美

Q 県内で教員の不祥事が相次いだが見解は。

A 事件を真摯に受けとめ、学校と地域、社会の垣根を低くしながら、教育に対する信頼回復に努める。

Q 指導力不足の教員への対応は。

A 県と連携を取りながら、継続的な指導、研修を行い、指導力向上を図る。

Q 越前市を「教育のための社会」のモデル地域にしてはどうか。

A 社会全体の教育力を高めたい。多くの市民と議論をし、18年度には市の教育方針を固めたい。

Q 市独自で教員採用はできないか。

A その考えはない。外国人日本語指導や学級補助等で臨時講師は採用している。

Q 乳幼児の医療費無料化を6歳まで拡大するマニフェストの実施時期はいつか。

A 来年3月議会で予算案を提案し、18年度から実施すべく検討を進めている。

ニート対策について

諸派・無所属

題佛 臣一

Q 学校にも仕事にも行かないニートと呼ばれる若者が増加現象にある。このような若者への支援に、市は取り組んでいるのか。

A フリーター対策を中心とし、若者に対する職業相談窓口として、県のジョブカフェを職業訓練センターに開設したり、インターシップ事業等で職業の選択機会の拡大を図っている。

Q 当事者や親に対して、専門のカウンセリングによる相談窓口や、インターネットを活用した窓口が必要ではないか。

A 就労促進の窓口は整っているが、窓口にも来られない人への対応は、教育委員会とも連携し研究したい。

Q 児童のうちから、ニート対策として、児童家庭支援センターでの相談体制を充実してはどうか。

A 運営を委託する法人をサポートするメンバーによって、様々な困難事例に対処できると判断している。

合併特例債の活用について

越前クラブ

福田 往世

Q 合併特例債を活用した事業実現への取り組みは、合併に達した重要項目である。事業内容を公表し、計画どおりに推進すべきだ。

A 各事業については、新市建設計画に盛り込んでおり、総合計画の中に反映させる。中長期の財政見通しを立て、優先順位や実施時期についても示せるよう取り組む。

Q 武生と今立が一体的に発展する融和策をどう考えているか。各種行事の開催地の調整も考慮すべきである。

A 融和は市民との対話が基本と考え、市内17全地区で地域ミーティングを開き、市民との対話を積み重ねたい。政策の継承は大切であり、策定された新市建設計画の内容を着実に総合計画に反映させ、両地区の均衡ある発展を進める。また、地域の特性を活かす方策として、自治振興事業をさらに活性化したい。行事の開催地は、参加者の数やイベントの性格を踏まえ、施設の規模や市民の利便性を考慮し、各種団体と協議していく。

行財政構造改革プログラムについて

諸派・日本共産党

前田 修治

Q 国の新地方行革指針は住民不在の押しつけだ。本市の行財政構造改革プログラムは独自性を持ったものか。

A プログラム策定は、主体的に独自に取り組む。行政サービスの維持と合併してよかつたと思われる町づくりのための手段として、住民の目線に立ったものを作りたい。優先順位を決めて、行政、市民、民間の役割など区別することも必要と思う。

Q 介護保険利用者の実態調査は行ったか。改正される保険料の具体的な見直しはどうか。

A 特養・老健施設で、利用者の苦情等調査をしたが、負担増による退所者はなかった。保険料は国の介護報酬などが示されておらず、今は見込めないが、若干は上がると想定される。

Q 職員を10年で100人削減というが、住民サービス

A 住民サービスが低下しないよう今後の職員適正化計画の中で取り組む。

アスベスト対策について

未 来

池田 芳男

Q 県は、アスベストによる健康被害防止条例を作ったが、市も独自の条例を制定し、管理監督すべきでは。

A 県の条例は、法律の中での規制の不備な点をカバーする形で制定されている。その運用がしっかり図られるよう県と連携し、適切な対応をすれば、市が条例を制定する必要はないと考えている。

Q 他自治体ではアスベスト対策として、民間の施設における除去費用などに対して補助や低利の融資を行っている。市でも助成制度を作れないか。

A 国においては、多くの人が利用する公共施設及び民間施設に対する助成制度を検討していると聞く。今後、県や近隣自治体の対応状況などもみて研究していきたい。

Q 民間施設のアスベスト使用の実態を把握すべきでないか。

A 個人住宅などへの立入調査は難しい。公共施設の台帳整備は完了した。

グループホームの設置について

諸派・無所属

安立 里美

Q 県内で本市だけ知的障害者グループホームがない。新市の公営住宅建設にかける地域住宅計画の中に、公営のグループホーム建設計画を組み入れられないか。

A 地域住宅計画の中に、グループホーム建設を入れることは法的に可能である。必要性を認識し、18年度策定する障害福祉計画の中で関係団体とも協議し検討を深める。

Q 4月から施行される障害者自立支援法では、サービスに対して個人負担がかかる。関係者への周知は。

A 広報紙やホームページはもちろん、該当する本人に対して直接お知らせする。

Q 介護保険法の改正に伴い設置される「地域包括支援センター」に対する考えは。また、在宅支援センターとは、どう連携していくのか。

A 地域包括支援センターは一箇所設置する。その運営に必要な体制を準備中だ。在宅支援センターは今後も必要と考えるが、あり方は関係者とも協議し対処したい。

委員会審査

12月定例会に提案された議案審査のため、各委員会が開かれました。掲載内容は委員長報告の主なものです。

総務委員会

地域自治振興事業交付金に
関して

今般の降雪に伴う狭い道路の除雪の取り組みで、今後、武生地域において通常の地域自治振興事業交付金予算の枠の中では対応できない状態になった場合の市の対応についていただきました。

理事者からは、今後の降雪状況によっては、地域自治振興基金の取り崩しによる交付金の追加交付など、弾力的な対応をしていきたいとの答弁がなされました。

重ねて、委員からは、地域自治振興事業交付金の算定に当って、地区の狭い道路の実情を勘案されていない部分もあるとの、その実態を明確に把握するとともに、狭い道路にかかる交付金の考え方、使い方について、各自治振興会に十分説明、指導されたいとの要望を行いました。

歳入全般に関して

厳しい財政状況の中、市税全体の滞納額が多額になってきているが、滞納整理及び納税意識の高揚策についていただきました。

理事者からは、10月から特別徴収班を従来の倍の体制で編成し滞納整理にあたっている。そうした中、滞納の原因や世帯の実態、徴収方法などの調査研究を行うとともに、滞納につながる各所管での問題解決も含めて、全庁体制で取り組んでいる。また、滞納処分など法的な措置も含め、行政としてやるべきことには対応してきている、との答弁がなされました。

産業経済委員会

水田農業構造改革推進事業
について

本事業の実施に向けては、今後の国の支援となる要件の一つに、法人組織化が挙げられているが、現在、兼業農家が多いことや、担い手の育成が困難な状況の中、法人組織化を推進するための、市における指導者の必要性をいただきました。

理事者からは、国の施策に対応できる体制づくりや、指

教育厚生委員会

南中山小学校の改築について

合併を進めるに当たり、この南中山小学校については、特例債を活用し、校舎の全面改修を行い、保育所を併設すると関係住民に説明を行ってきた経過も踏まえ、今後の校舎全体の改築計画についていただきました。

理事者からは、南中山小学校の改築事業は、北新庄小学校の改築とともに新市建設計画で、まちづくり主要事業として盛り込まれており、合併協議会の幹事会での協議内容も考慮した上で、今回策定する越前市総合計画の中で、具体的な建設年次計画を立てながら事業推進を図りたい、との方針を、再度確認する答弁がなされました。

建設委員会

旧今立町における排雪作業
について

狭い道路を持つ集落が多い

導者の育成については、農協等への働きかけとともに、市においても農家組合単位で、適切な指導、相談に応じていきたい、との答弁がなされました。

今立地域において、除いた雪のかたまりが住民の生活に大きな支障を来した。今後予想される降雪によっては、雪の排出作業が必要となるが、現在、堆雪場所として指定されている粟田部地区・岡本地区に係る河川は、堆雪による増水が考えられることから、より適切な堆雪場所を確保することが必要との見解を示しました。

理事者からは、これから本格化する降雪時期に向け、状況に応じて、今立総合支所との連携を密にししながら、今の堆雪場所とともに新たな箇所が設定できるかどうかについて、関係の河川管理者と協議を進めたい、との答弁がなされました。

表彰

福井県町村議会議長会表彰

旧今立町議会

議員在職18年表彰

前田 眞

議員在職10年表彰

上山 直行

林 忠男

福井県町村議会会長感謝状

旧今立町議会

議長在職表彰

福田 往世

3月定例会日程

3月1日

本会議（提案理由説明）

3月6日

本会議（代表質問）

3月8日～14日

本会議（議案に対する質疑・委員会付託・一般質問）

3月15日～23日

各常任委員会・特別委員会

3月24日

本会議（委員会審査結果報告・質疑・討論・採決）

議事の都合により日程が変更になる場合がありますので、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

問合先 議会事務局

☎(22)3426

市議会を傍聴しましょう

本会議の傍聴は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでもできます。なお、来庁時はなるべく公共交通機関の利用または合わせてお越しください。

本会議の様子を映
丹南CATVで放

100 市議会だよりは、資源保護のために再生紙を使用しています。資源として活用できますのでリサイクルにご協力ください。